



# 博物館登録 ふるさと文化伝承館

ふるさと  
の174  
誇り



博レポート



ふるさと文化伝承館 テーマ展

## 藍と綿が奏でる にしごおりの暮らし

令和4年1月14日(金)  
～5月25日(水)

リニューアル後に開催した展示会

- 「南アルプス市食べもの風物誌」
- 「ふるさとの新春を彩った引札」
- 「開削350年 徳島堰」
- 「にしごおり『おかぶと』の世界」
- 「戦争と にしごおりの人々」



2021年11月、ふるさと文化伝承館が正式に国から博物館登録を受けました。

博物館、美術館のような活動をしているミュージアムは、日本全国に5700館以上ありますが、国の博物館法に基づく登録博物館は約900館に過ぎません。山梨県では、県立美術館や県立博物館など20館がすでに登録を受けています。南アルプス市では市立美術館に次いでふるさと文化伝承館が正式な公立博物館として認められました。

では、「博物館」というのは何を指す施設か、皆さんご存知でしょうか。博物館法に規定されている「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集、保存し(時として飼育)、展示して一般の利用者に提供するなかで、その教養や調査研究、レクリエーション等に役立てるための事業を行う施設をいいます。したがって、博物館には、資料の収集・保存、調査・研究、展示、普及事業からなる4つの重要な役割があることとなります。

「ふるさと文化伝承館(以下、伝承館)」は、市内の歴史、民俗、産業などを主に取り扱う歴史・民俗系博物館に区分されます。

現在、伝承館では「南アルプス市〇〇博物館事業」の中で、市民の皆さまからいただいた貴重な証言や資料を将来にわたって保存・活用するために、順次整理を行っています。こうした地道な整理作業の過程で、地域の歴史に関する重要な発見があることも決してまれではありません。また、保管している資料を展示会や教育・普及事業にも有効に活用できるようにデータベース化の作業も進めています。

2018年5月にリニューアルオープンして以来、伝承館では「南アルプス市食べもの風物誌」「ふるさとの新春を彩った引札」など、市内の歴史・文化に関する多彩な展示会を開催してきましたが、これらの展示品も市民の皆さんからいただいた歴史や民俗資料が中心となっています。

面白いことに、展示会を開催すると毎回必ず見学された方から「我が家にもこんな資料があるよ」といった情報をお寄せいただけます。博物館展示は、新たな資料を呼ぶことができる魔法のツールといえるかもしれません。

普及事業では、コロナ禍にある現在、大きなイベントがなかなかできない状況ではありますが、「徳島堰の体験ツアー」や「ミュージアム・カフェ・トーク」、「博アーカイブ」などを通して、南アルプス市の魅力を再発見してそれを全国に発信する活動も行っています。

今回、伝承館が正式に登録博物館となったことで、上記の4つの役割をさらに充実させ、南アルプス市が誇る歴史・文化を地域の皆さんと分かちあう活動を進めていきたいと、スタッフ一同、意を新たにしています。ぜひ、市民の皆さまの暖かいご支援をこれからもよろしくお願いいたします。